

資料：明治期の公開演奏会におけるロッシーニとヴェルディ作品の演奏 水谷彰良 編

明治 20 年 (1887 年) までに公開演奏会で歌われたロッシーニとヴェルディの作品はきわめて乏しく、来日したイタリア人歌手もしくはグループによるそれが数例確認できるにすぎない。明治 20 年 3 月以降も日本人による洋楽演奏会は音楽取調所の卒業演奏会、東京音楽学校の卒業・校友会演奏会などでのみ行われた。そこでの声楽は独唱ではなく合唱による唱歌とされ、オペラの楽曲はピアノ連弾や独奏楽器とピアノ伴奏で演奏された。公開演奏会における管弦楽の演奏は明治 30 年代後半に始まるが、多くは陸軍と海軍の軍楽隊により、オペラの序曲や楽曲の抜粋が曲目とされた。

ロッシーニ作品の演奏(明治 20 年以降は数字を除いて原文のまま転記)	ヴェルディ作品の演奏(情報のみ略記)
<p>◎明治 8 年 (1875 年) 来日のイタリア人ソプラノの M.パルミエーリとその妹でメゾソプラノのベルシアーニが 9~10 月に演奏会を行い、パルミエーリ氏のピアノ伴奏でベルシアーニが「今の歌声」を歌った。</p> <p>◎明治 14 年 (1881 年) に来日した「イタリア王立座」と称するグループ(歌手 3 人と奏者 1 名)が 3~4 月に横浜のゲーテ座で演奏会を開き、ロジーナの詠唱を含むイタリア・オペラの楽曲を歌った。</p> <p>——以下、数字を除いて原文のまま</p> <p>◎明治 20 年 (1887 年) 5 月 31 日『大日本教育会雑誌』第 56 号：日本音楽会——5 月 14 日午後 8 時半より工科大学中堂ニ於テ奏楽アリ 第一部 (一) <b>ウイヘルム、テルノ唱歌劇大序</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同年 7 月 15 日『教育時論』第 81 号：音楽取調掛演習会——上野音楽取調掛にては去る 9 日音楽演習会を催されたり 第一部五 <b>洋琴 セビラノ理髪工 独弾ロジニー作 林 蝶子</b></li> </ul> <p>◎明治 25 年 (1892 年) 6 月『音楽雑誌』第 21 号：日本音楽会第 15 回演奏会——去る 4 日午後 4 時より其第 15 回を後楽園内に開かる当日は [中略] 演奏場は園内の広場たり (6) <b>近衛軍楽隊 (ロシニー) 楽曲の序を奏せり</b></p> <p>◎明治 26 年 (1893 年) 10 月『音楽雑誌』第 37 号：雅楽所楽友会——宮内省式部雅楽所の同会は 9 月 30 日午後 2 時より富士見町五丁目雅楽稽古所に於て開会第七 <b>吹奏楽「セウイラ」名地の剃髪者アリーの曲</b> (東儀俊竜氏コルネット) 註：ロッシーニ作品かどうか不明。</p> <p>◎明治 29 年 (1896 年) 8 月『音楽雑誌』第 59 号：音楽学校卒業式——上野公園音楽学校には七月十一日卒業証書授与式を挙行せられたり 第五 <b>ピアノ (二人連奏 専修部卒業生 河野虎雄 片岡亀雄) オーベルツレー、ツール、オーベル、エリザベット ロッシーニ氏作曲</b></p> <p>◎明治 32 年 (1899 年) 3 月 11 日、東京音楽学校奏楽堂の明治音楽会にて、モリソン夫人が「今の歌声」を歌った。[増井敬二『日本オペラ史 ~1952』(昭和音楽大学オペラ研究所 編)]</p> <p>◎明治 34 年 (1901 年) 6 月 24 日『読売新聞』：明治音楽会評——去る土曜日本郷中央会堂の会 [中略] <b>有名なロシニー作のオペラ「ゼビルラの理髪師」の一節は管絃六部の合奏で紹介せられた。初のオーボエとフルートはよく合い、殊にクラリネットの婉転たる旋律もよく吹きあらはされて、クラリネット独奏と言ってよいからぬ。最後の壮快なる行進曲はこれまた毎々聞くものである。</b></p> <p>◎明治 37 年 (1904 年) 5 月『音楽新報』第 4 号：<sup>じゅつづい</sup> 兵野外音楽会——5 月 21 日午後 5 時半 小石川植物園 第一部 一 <b>吹奏楽 陸軍軍楽隊諸氏 ロシニー ウーヴェルチュール ギイヨイム</b></p> <p>◎明治 39 年 (1906 年) 10 月 1 日『東京日日新聞』：日比谷の演奏評——29 日の午後 4 時半と言ふに一週延期たる海軍軍楽隊の演奏は楽長吉本光蔵氏指揮の下に開始されたり <b>△歌劇「セミラミス女王」序曲 ロッシーニ作 アツシリアの女王セミラミスが波斯及阿弗利加を征服せるを伊太利革命時代に脚色したるものなる</b> <sup>べるしあ あふりか</sup> <b>が伊太利脚色のことと艶麗言ふばかり無きに殊にコルネットの入れ方や高過ぎてメゾソプラノが耳に付きしも却って聴衆には大受けなりき</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同年 11 月 7 日『東京日日新聞』：日比谷の演奏——来る 11 日午後 2 時より 4 時迄 (当日雨天なれば 18 日) 海軍々楽隊長吉本光蔵氏の指揮下に催さるる日比谷公園音楽堂の曲目は 第二部 六 <b>歌劇「ウイヘルム禱歌曲ム、ペル」序曲 (ロシニー作)</b></li> <li>・同年『音楽新報』12 月号：同志倶楽部演奏会——10 月 28 日午後 1 時より和強楽堂に於て開会曲目左の如し 七、<b>絃楽合奏東京音楽会演奏部員 ウキリアム、テル</b></li> </ul> <p>◎明治 40 年 (1907 年) 『音楽新報』一月号：楽友倶楽部演奏会——客年 12 月 22 日青年会館にて催せる同会曲目左の如し 一二、<b>合奏 部員 甲、ウキリアムテル ロヒー作曲</b></p>	<p>◎明治 8 年来日のイタリア人 M.パルミエーリが《トロヴァトーレ》第 1 幕のアリアを歌った。</p> <p>◎明治 12 年 (1879 年) 7 月 29 日と 8 月 5 日、ヴァéron 歌劇団がプロムナード・コンサートで《トロヴァトーレ》の「ミゼレーレ」を演奏。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同年 10 月 9 日、ハールマン夫妻が行った単独のコンサートで《トロヴァトーレ》抜粋を上演。</li> </ul> <p>◎明治 14 年来日の「イタリア王立座」(左表参照)が 3~4 月に演奏会を開き、「清きアイダ」、《仮面舞踏会》の三重唱を演奏。</p> <p>——</p> <p>◎明治 20 年 2 月 19 日、上野公園内文部省総務局所属音楽取調掛における第 2 回卒業証書授与式での演奏 洋琴 トロバドアー 二人連弾 ヴェルデー氏作 (白井規矩郎/ソープレット)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同年 3 月 17 日午後 8 時半より鹿鳴館で行われた日本音楽会第 2 回演奏会 第一部 五 唱歌 トロウエルノ合唱歌 作曲者ウエルデー (文部省音楽取調掛諸氏)</li> <li>・同年 7 月 9 日、音楽取調掛の演習会 第二部 十二 管絃楽 演劇曲トラビアータノ序部 ジェー、ウエルデー作 (研究生等)</li> </ul> <p>[1889 年 (明治 22 年) 6 月 10 日、エイミー・シャーウィン英国歌劇団が横浜パブリックホールの公演後半部に《トロヴァトーレ》第 3・4 幕を舞台上演。伴奏はピアノとフルートと思われる]</p> <p>◎明治 24 年 3 月 14 日午後 2 時より上野東京音楽学校内での東京音楽学校同好会の演奏会 (一) 洋琴 (トロバドール進行曲)</p> <p>◎明治 25 年 5 月 23 日午前 9 時より牛込見附雅楽稽古所における雅楽大演習会 欧州管絃楽乙 トルバドル歌劇抜萃ファンタシーの曲 (管絃楽に三面の箏を含む)</p> <p>◎明治 28 年 6 月 不明 ケエベル氏がピアノでリストの「リゴレット」 [註：リゴレット・パラフレーズ] を演奏。</p> <p>◎明治 29 年 11 月 8 日上野公園音楽学校奏楽堂の音楽学校同声会秋季大演奏会 二 <b>ピアノ聯弾 河野虎雄氏 片岡亀雄氏 トロバドアー ベルデー氏作曲</b></p> <p>◎明治 33 年 4 月 13 日神田美土代町の青年会館で行われた明治音楽会 七、アツテエラ歌劇中ノトリオ (ジー、ヴァデ作)</p> <p>◎明治 37 年 4 月 10 日午後 2 時より高等商業学校講堂にて明治音楽会の恤兵音楽会 第一部 一 <b>ヴェルデー 歌劇ナブコの序曲</b></p> <p>◎明治 39 年 5 月 16 日午後 6 時より神田美土代町青年会館にて明治音楽会第 42 回演奏会 第一部 (洋楽) 二 <b>管絃楽行進の曲 ベルデー作曲 ナブコ歌劇の序</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同年 7 月 28 日 (雨天なら翌 29 日) 午後 7 時より海軍軍楽隊の演奏会 (楽長・吉本光蔵) 第一部 二、歌劇ネブカチザール王序曲 ヴェルデ作曲</li> <li>・同年 11 月 25 日午後 2 時より日比谷公園音楽堂で行</li> </ul>

◎明治 41 年 (1908 年) 4 月 12 日『時事新聞』：日比谷の演奏——12 日午後 3 時より永井陸軍々楽長指揮の下に演奏すべき曲目は左の如し **第二部 七、序曲タンクレード ロシニー作**

- ・同年 6 月『音楽界』第 1 巻第 6 号：日比谷の演奏——12 日午後 3 時より陸軍々楽長永井健子氏の指揮下に演奏られし陸軍楽隊の曲目は左の如し **第一部 五、歌劇セビールの理髪師 ロシニー作**

◎明治 42 年 (1909 年) 5 月『音楽界』第 2 巻第 5 号：日比谷の演奏——4 月 11 日午後 3 時より日比谷音楽堂に於て永井軍楽長の下に演奏せし曲左の如し **第一部 五 ギュイヨーム (ウイヘルム) テル劇中の行進 ロシニー作**

- ・同年 4 月 24 日『時事新聞』：日比谷の演奏——来る 25 日 (第 4 日曜日) 午後 3 時より同 5 時迄日比谷音楽堂に於て横須賀海兵団派遣軍楽隊海軍々楽長瀬戸口藤吉氏指揮の下に演奏あり曲目左の如し (雨天繰下) **第一部 二 大歌劇ウイヘルムテル序曲 ロシニー作**
- ・同年 9 月 9 日『東京朝日新聞』：日比谷の演奏——来る 11 日 (土曜日) 午後 7 時より同 9 時迄日比谷公園音楽堂に於て演奏を施行、曲目左の如し (尚雨天の節は翌日曜日に繰下) 陸軍戸山学校軍楽隊 永井健子指揮 **第二部 六、カヴァチヌ コルネット独奏 ロシニー作**
- ・同年 10 月『音楽界』第 2 巻第 10 号：日比谷の演奏——9 月 25 日 (土曜日) 午後 7 時より同 9 時迄日比谷公園音楽堂に於て横須賀海兵団派遣軍楽隊軍楽長瀬戸口藤吉氏指揮の下に演奏せし曲目左の如し **第一部 四、スタバマーデル讃歌曲 ロシニー作**
- ・同年『音楽界』12 月号：早稲田音楽会——同会第 4 回演奏会は 23 日午後 6 時より神田青年会館にて開催せらるる其曲目は左の如し **第二部 絃楽合奏 (ウキリアム、テル)**

◎明治 43 年 (1910 年) 『音楽界』第 3 巻第 6 号：日比谷の演奏 (陸軍戸山学校軍楽隊) ——4 月 24 日日曜日午後 3 時より同 5 時迄日比谷公園音楽堂に於て演奏せる曲目左の如し **第一部 三、歌劇「セビール」の理髪師幻想楽 ロシニー作**

- ・同年 6 月 5 日「好楽会」主催第 2 回演奏会 (有楽座) ——柴田環がロシニーの歌劇『セヴィリアの理髪師』からの詠唱を独唱 [『明治文化史 9 音楽演藝編』]
- ・同年 12 月 10 日 日比谷公園音楽堂：日比谷の演奏——遺英軍楽隊楽手団 指揮者 永井 健子 **第一部 二、序楽 アルジェールの伊太利人 ロシニー作**

◎明治 44 年 (1911 年) 3 月 25 日 東京音楽学校：東京音楽学校第 22 回卒業演奏——**独唱 声楽卒業生 岡見メリーモリス カヴァティナ ロススイニ作曲**

- ・同年 7 月『音楽世界』第 5 巻第 7 号：明治音楽界の改組——[明治音楽会が組織を改め、戸山学校及び陸軍々楽隊をも編入] 大合同の試演第一回は七月一日午後七時より神田青年会館にて催せし筈なるが、指揮者はドヴラウイツ氏及び永井楽長の二人にて、出演者総員四十二名あり **管絃楽には「ウキリアムテル」の序曲**
- ・同年 10 月『音楽』第 2 巻第 10 号：日比谷音楽——9 月 23 日午後 7 時より 9 時まで、日比谷公園にて陸軍々楽隊は隊長永井健子氏指揮の下に左の演奏をなしたり **六、セビール理髪師の大序ロシニー**
- ・同年 10 月 8 日午後 1 時半 共立女子職業学校：楽声会創立 12 年記念音楽演奏会 曲目——**九、高音独唱 岡見メレー子 パルビュール ロシニー作曲**

◎明治 45 年 (1911 年) 5 月『音楽』第 3 巻第 5 号：音楽奨励会第 10 回演奏会——3 月 26 日午後 7 時より華族会館に於て音楽奨励会第五 (10) 回演奏会 (声楽会) 開催せられたり。曲目左の如し **第一部 四 ラ、ガッツァ、ラドラのアリア 林豊子 ロシニー作曲 第二部 七 セミラミス中のカヴァティナ 林豊子 ロシニー作曲 一〇、独唱 中尾竜子 パアピア、フォン、セヴィリア中のカヴァティナ ロシニー作曲**

- ・同年 3 月 28 日『東京朝日新聞』：第 10 回音楽奨励会評——**アルト林嬢がロシニーのセラミス [中略] 最後のソプラノー中尾嬢のロシニーがセベイアの髪剃りは本日の圧巻にして声は微かに聞えしと覚ゆを初め妾が心配に傷きたりと続けリンドー刺されては百千の落穿 (らくせい) と乱れ妾必ず勝んと結ぶ辺帝劇衆席を去りも得ず熱心なる拍手を続けて当夜唯一のアンコーラを強制したるは実に当夜のプリーマドンナなりき**
- ・同年 8 月『音楽』第 3 巻第 8 号：東京音楽学校第 1 回土曜演奏会——7 月 6 日本校講堂に於て、学友会第一回土曜演奏会を催ふせり。其の曲目左の如し **第一部 二、中音独唱 竹内うめ子 歌劇「セミラミス」中の咏嘆詞 第三部 十、声楽 第二部 菌部ふさ子 船橋栄吉 歌劇「パルビュール、デイ、シヴィリヤ」中の二部 ロシニー作曲**
- ・同年 (大正元年 [7 月 30 日に明治天皇崩御し、元号が大正となる]) 11 月 12 日『都新聞』：原のぶ子の初舞台——横浜音楽団主催にて来る十七日横浜角力常設館に [て、帰国する東京音楽学校雇教師ユンケル氏の] 最後の演奏会を催すべく当日は [中略] **此程上海より帰朝せる問題の人原のぶ子はロシニー作のバルビール、シビリヤ及びアペマリア等得意の技を演ずべしと**
- ・同年 12 月 14 日本校音楽堂に於いて [東京音楽学校] 学友会第三回土曜演奏会興行せり曲目左の如し **五、高音部独唱 永井いく子 歌劇「イル・パルビュール、デイ、シヴィリエ」中ノ絃情調 ロシニー作**

われた陸軍軍楽隊の演奏会 (楽長・永井健子 [けんし]) **第二部 七、伊太利歌劇リゴレット ヴェルヂー作**

- ・同年 11 月 25 日午後 2 時より日比谷公園音楽堂における陸軍軍楽隊の演奏会 (楽長・永井健子) **第二部 七、伊太利歌劇リゴレット、ヴェルヂー**

◎明治 40 年 11 月 24 日午後 2 時より日比谷公園の海軍軍楽隊演奏会 **第二部 十、ネブカトネザール王歌劇序曲 (ヴェルヂー作)**

◎明治 41 年 3 月 8 日 (雨天なら次の日曜) 上野公園竹の台音楽堂の中央音楽団演奏会 **第二部 七、リゴレットの曲 ベルト作**

- ・同年 6 月 12 日午後 3 時より陸軍軍楽隊の演奏会 (楽長・永井健子) **第二部 十、歌劇アイダ ヴェルヂー作**
- ・同年 5 月 10 日午後 3 時より日比谷公演における陸軍軍楽隊の演奏会 (楽長・永井健子) **第二部 九、歌劇古詩人 (トロバートル) ヴェルヂー作**
- ・同年 8 月 8 日 (雨天なら翌日曜) 午後 7 時より日比谷公会堂の陸軍軍楽隊演奏会 **第一部 五、歌劇トラヴィアタ (椿姫) ヴェルヂー作**

◎明治 42 年 4 月 25 日午後 3 時より日比谷音楽堂における横須賀海兵団派遣軍楽隊の演奏会 (楽長・瀬戸口藤吉) **第二部 八 歌劇トロバドター (歌の師匠) 拔萃曲 ヴェルヂー作**

- ・同年 5 月 9 日 (雨天なら次週日曜) 午後 3 時より日比谷公園音楽堂における陸軍戸山学校軍楽隊の演奏会 (楽長・永井健子) **第一部 五、劇楽アチラ ヴェルヂー作**
- ・同年 5 月 23 日日比谷公園音楽堂における海軍軍楽隊の演奏会 (楽長・瀬戸口藤吉) **第一部 二、歌劇ラ・トラヴィアタ序曲 ウェルヂー作**
- ・同年 8 月 8 日 (雨天なら 9 日) 午後 7 時より日比谷公園音楽堂における陸軍軍楽隊の演奏会 (楽長・永井健) **第一部 歌劇トラヴィアタ (ヴェルヂー作)**
- ・同年 9 月 25 日午後 7 時より日比谷公園音楽堂に於て横須賀海兵団派遣軍楽隊の演奏会 (楽長・瀬戸口藤吉) **第二部 六、悲劇オセロ 幻想曲 ウェルヂー作**

◎明治 43 年 9 月 10 日午後 7 時より日比谷公園音楽堂における海軍軍楽隊の演奏会 **第二部 六、仮装舞踏会 綜合曲 ウェルヂー作**

◎明治 44 年 1 月 15 日午後 2 時より東京音楽学校のベツオールド音楽会 独唱 リゴレット ヴェルヂー作 柴田環子 [ママ] (日本人初のヴェルディ歌唱の記録?)

- ・同年 2 月 19 日午後 6 時より華族会館における音楽奨励会の第 3 回演奏会 **第一部 三、コルネット独奏 高津 敏 リゴレット中のファンタジア ヴェルヂー作**
- ・同年 4 月 9 日午後 3 時より日比谷公園での日比谷音楽四、リゴレット (歌劇抜萃曲) ヴェルヂー作
- ・同年 4 月 23 日、日比谷公演における陸軍戸山学校軍楽隊の演奏 **第一部 三、椿姫 (トラヴィアタ) ヴェルヂー作**
- ・同年 9 月 3 日午後 7 時より三越呉服店の少年音楽隊による試演会 **二、ヴェルヂー作 トロバートル抜萃**

◎明治 45 年 3 月 28 日午後 8 時半より声楽大音楽会 (サルコリー主催) **第一部 五、独唱 サルコリー氏 アイダ ヴェルヂー作**

- ・同年 5 月 5 日、木挽町歌舞伎座での演奏会 **五、テナー独唱 ザルコリー氏 乙、リゴレット ヴェルヂー作**
- ・同年 5 月 28 日午後 2 時、神田区共立女子職業学校の師恩感謝音楽会 **第二部 三、女声高音独唱 柴田環女史 椿姫 ヴェルヂー作**